

鳥取県 商工会 だより

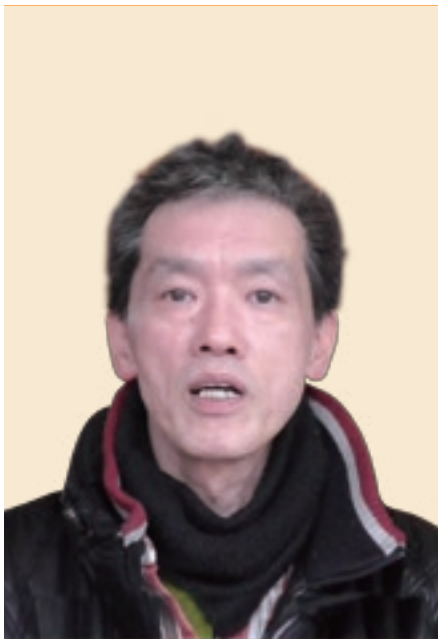
No.363

3

2018
March


事業者の想いを計画に 計画を成果に

第18回経営支援発表大会開催



Kozy's Kitchen

「焦っていた気持ちが解消された。ゆとりをもって事業ができるようになった」

木原ペットクリニック
「経営の問題で迷ったときに商工会へ相談、日々の業務に集中できるようになった」



(有)エーアンドエフ

「忙しいのを理由に財務管理がなござりになっていた。支援を受けて金融機関の評価にも変化が」



第18回経営支援発表大会 事業者の声

関連記事
2ページ

CONTENTS

- 第18回経営支援発表大会 2
- よろずカフェ 3
- ひろしま夢プラザ出展・消費税軽減税率制度 4
- 東部・中部・西部センターコーナー 5~7
- 商工NAVI畑 ㈱花工房あげたけ(北栄町商工会) 8
- 青年部・女性部コーナー 9
- 鳥大情報室 10

第18回経営支援 発表大会



商工会が事業者と向き合い、抱えている問題の解決に向けて支援を行っているプロセスを紹介するため、2月22日に倉吉シティホテルにて第18回経営支援発表大会を開催。各支援センターが行った経営支援事例では、審査の結果、中部センターが最優秀賞を受賞。また、産業振興事例として、湯梨浜町が発表を行いました。

商工会は、今後も事業者に寄り添った支援を続けていきます。

最優秀賞 ペットクリニックの経営再生に向けた挑戦 ～医療も経営も決してあきらめない～(中部センター)

支援先 木原ペットクリニック
(動物病院)
代表者 木原 友子 氏
発表者 井上 紀子



開業4年目で閉院の危機に
資金繰りの相談をきっかけに現状分析を行い、売上低迷・在庫過多・未払金過大の問題が判明。県内初であるペットへの東洋医学診療も認知不足の状態。

家計費も含めた金融支援
事業経費だけでなく、住宅ローンなど家計費も含めた資金繰り表を作成し、成り行き経営から計画に基づいた経営へシフト。

積極的なメディア活用
東洋医学を用いたペット診療を新聞テレビなどでPR。SNSも活用することで認知度が向上。

また、在庫の二重チェック、基準在庫の設定により無駄な経費を削減。

経営のストレスが減った
「迷ったときに相談できることで日々の診療に集中できるようになった」と語った木原代表。経営のストレスが軽減したことで、自身と家族の精神・健康状態も改善。

木原ペットクリニックは、今後も病気の根本原因の究明とより良い治療を求め続けていきます。

持続的経営を目指した まちの洋食店への地道な経営改善支援 (東部センター)

支援先 Kozy's Kitchen(洋風食堂)
代表者 野津 浩二 氏
発表者 濱本 直子



信頼を得るために
関係を構築するため、巡回と情報提供を継続的に実施。徐々に信頼を得て、セミナーをきっかけに経営相談が始まった。

ターゲットの設定
店の特徴や立地を分析するため、店舗を何度も訪問。工場団地の従業員・ごも連れのファミリーをターゲットに設定。

わかりやすい外観に
お客さん呼び込むため、看板の設置・HPのリニューアルと必要な設備投資も行い、売上は徐々に増加。

焦っていた気持ちが解消
経営計画を作成することで、やるべきことが明確化し、一人では気付けなかった課題も判明。

当初は商工会を信用していなかったが、何度も相談する内に良き相談相手に。「焦りが消え、周りを見渡せる余裕が生まれた」と野津代表は語りました。

現在、新たな課題「客単価UP」に向け、メニュー表改定に取り組んでいます。

地域密着型卸売業の経営改善 ～どんぶり経営から脱却し持続的発展を目指す～(西部センター)

支援先 (有)エーアンドエフ
(卸・小売・飲食店)
代表者 亀山 博之 氏
発表者 田仲 玲子



「カフェが軌道に乗らなくて…」
カフェ経営について相談を受け、現状分析を開始。複数部門運営による業務の多忙化、新事業開始による借入金負担が大きくなり、カフェ経営だけでなく、全社的な支援が必要な状況だった。

新事業に向け足元を見直し
忙しいことを理由に財務管理、部門管理が不足していた現状を改善するため、税理士とも相談。請求書の管理方法を工夫、独自の計算書を活用し、資金繰りに各事業の管理を行う体制を構築。

経営者の意識が変化
専門家を活用し、経営改善計画書を作成していく中で、既存事業の見直し、財務管理の重要性を理解し行動。

事業承継を視野に
事業承継を目指し、長期的な経営計画実行支援を継続中。

伯耆町の豊かな自然の中、自然素材のシヤムなどの作成も手がける亀山代表は、「足元をみつめながら鳥取島根の自然を活用していきたい」と夢を語ります。

みんなで取り組んだ第1回「湯梨浜まちゼミ」(湯梨浜町商工会)

事業内容 まちゼミの企画・実行



※まちゼミ：事業者が講師となって、専門知識やコツなどを提供するゼミ。

産業振興事例
女性部で「まちゼミ」…
青木女性部長の提案から始まった「まちゼミ」。女性部だけでなく、商工会での事業として企画することに。

まちゼミ伝道師来る
まちゼミ(※)とは？どんなふうに取り組むの？そんな不安を解消するために「まちゼミ伝道師」を招いて研修会を実施。

目標を上回る参加者
目標をはるかに上回る33の参加事業者数と48もの講座を開設。メディアにも取り上げられました。受講者の9割が初来店「店頭の商品購入につながった」など商売につながる成果も。

来年度に向けて
今後も継続し、最終的には、事業所主体での運営が目標。まちゼミを通じて地域を盛り上げていきます。



支援先 ローズガーデンテラス(幸本整体療術院)

幸本 明子さん

支援者 西部商工会産業支援センター

経営支援専門員 田仲 玲子

支援者 鳥取県よろず支援拠点

チーフコーディネーター 樋野 泰広

よろず支援拠点(以下よろず)は、中小企業診断士などの専門家による中小・小規模事業者の経営支援窓口です。鳥取県商工会連合会は、よろずの受託機関であり、支援センター・商工会の経営支援だけでは十分に対応できない経営課題について、よろずと協力して対応してきた実績が増えています。今回は、そのような連携支援の実例を紹介いたします。

樋野 事業についてご紹介ください。

幸本さん 父が整体業として開業

し、今は、父と私の2人で営業しています。バラ園とカフェは、母の趣味であるバラ栽培が好評でいつの間にかバラ園のようになり、来園者にお茶等を出すうちに、本格的にカフェもやりたいという想いが強くなり、バラ園とカフェの「ローズガーデンテラス」をオープンしました。

樋野 具体的な内容について教えてください。

幸本さん 当初は手作りだと考えましたが、手詰まりになってセンターに相談し、カフェのコンセプトづくりなど事業計画策定を支援していただきました。しかし、実際に古い梨選果場の建物を修繕しカフェにするとなると、何から始めてよいか分からなくて。センターにも建築に詳しい人がいないことから、よろずを紹介していただきました。

特に、工事の進め方についてアドバイスをいただいたことが大きかったです。限られた予算の中で優先順位を決めることの大切さを助言いただきました。途中で、何度も「本当にこの事



業をやるのですか」と念押しをされ、その度に、計画の見直しはもろろんのこと、なぜこの事業をやりたいのかを考え直しました。自分たちの感性に合ったものができるかが最大の不安でしたが、みなさんのおかげで本当に素晴らしいものができたと感じています。

樋野 次に、田仲経営支援専門員に今回のよろずとの連携支援についてお聞きします。

田仲 今回は、建築工事と事業計画を総合的に考える必要があり、センター職員だけでは対応が難しい案件でした。そんなときに、よろずの樋野さんにアドバイスをいただけたこ

とで、一緒になって支援することができました。

樋野 今回は、経営面だけでなく、私の建築士としての経験を中心に様々なアドバイスをすることができました。最初に相談を受けた際には、建物の老朽化も明らかで、本当に事業化できるの不安でした。そのため、幸本さんには、本当に事業を進めるのかどうかについて、何度も再検討をお願いしました。そこまでできたのも、センターと幸本さんの間で信頼関係が出来ていたからだと思います。今回の支援は、センターだけ、よろずだけでは不十分であり、上手にお互いの得意分野を活かしてチームとして支援したことが事業者さんの満足と成果に繋がったのだと思います。



(左から)幸本さん、樋野、田仲経営支援専門員

<よろず支援拠点へのお問い合わせは> TEL:0857-31-5556 HP:<http://tori-yorozu.jp/>

2,000円、3,000円、4,000円コース
商工会の福祉共済「傷害プラン」に
個人賠償責任保険
が付いた充実の安心補償!!

日常生活の事故や
トラブルで法律上の
賠償責任が生じたとき
**最高1億円
まで補償**



自転車を運転中、あやまって他人と接触してケガをさせてしまった!

飼犬が散歩中に他人に噛みつきケガをさせた!

示談交渉も
おまかせ!!



*保険の対象となる方はそのご家族が、補償内容が同様の保険契約を他に契約されているときには、補償が重複することがあります。ご加入にあたっては補償内容を十分ご確認ください。この広告は、個人賠償責任保険(「総合生活保険(個人賠償責任補償)」)の概要を紹介したものです。ご加入にあたっては必ず「重要事項説明」をよくお読みください。ご不明点がありましたら、商工会までお問い合わせください。

鳥取の「味」を広島へ



「やまぐち・とっとり物産展」開催

鳥取県商工会連合会は、山口県商工会連合会と共催により、1月11日から23日の12日間、ひろしま夢ひろぎ「て」やまぐち・とっとり物産展を開催しました。鳥取の地域産品は「とっとり自慢」商品を中心に15社約120品。4回目の開催となる今回は、鳥取の冬の味覚「松葉がこ」、山口は「ふぐ」の加工品など両県を代表する特産品を販売。また、両県のゆるキャラ「ととリン」と「ちよるる」も物産展を盛り上げ、多くの来場者でにぎわいました。

ひろしま夢ひろぎは、広島市の中心部にある本通り商店街に位置し、広島県市町村振興協会が広島県商工会連合会へ管理運営・情報発信を委託するアンテナショップです。年間来場者195万人、年商5億6千万円と、商店街の中で最も集客力があり、常時多くの来場者でにぎわっています。

出展者からは、「広島のお客様に対して、試食や商品説明ができ、PRに繋がった」「山陽圏の市場に魅力を感じた」といった成果の声を聞くことができました。

フェアでは、地域産品を展示販売するイベントブースと、事業者自らが来場者へ対面販売する店頭ブースに日替わりで7社が出展。試食・試飲提供して販売するとともに広島市場ブースを収集しました。

出展事業者一覧 (順不同)

- ・(有)田中農場
- ・(株)ベンチャー・ドゥ
- ・(株)アグリネット琴浦
- ・五月田農産物加工所
- ・(有)ふくべむら特産品本舗
- ・(同)米丸商会
- ・(株)トラスト
- ・薬局山本(トールシーの風)
- ・(有)アトラス(かわはら市場)
- ・いいだファーム
- ・はらだ農産
- ・(株)北条ワイン醸造所
- ・(同)大山スマイルファーム
- ・(株)新藤(とっとり中部発信プロジェクト「とりそらたかく」)
- ・大谷養蜂場

2019年10月1日から消費税の軽減税率制度が実施されます!

複数税率対応レジ導入等の補助金もあるのでお問い合わせください!



2019年10月1日から、消費税及び地方消費税の税率が8%から10%に引き上げられ、同時に消費税の軽減税率制度が実施されます。

軽減税率(8%)の対象品目

飲食料品

飲食料品とは、食品表示法に規定する食品(酒類を除きます。)をいい、一定の一体資産を含みます。外食やケータリング等は、軽減税率の対象品目には含まれません。

新聞

軽減税率の対象となる新聞とは、一定の題号を用い、政治、経済、社会、文化等に関する一般社会的事実を掲載する週2回以上発行されるもので、定期購読契約に基づくものです。

《軽減税率の対象となる飲食料品の範囲》



- 消費税軽減税率電話相談センター(軽減コールセンター) 専用ダイヤル 0570-030-456 【受付時間】9:00~17:00(土日祝除く)
- 軽減税率対策補助金事務局 ホームページ www.kzt-hojo.jp

大豆で食文化をつなぐ

(株)エコファームみなかは、平成28年2月に鳥取市気高町で大豆の栽培を開始し、法人を立ち上げました。

同町の逢坂地区は「有機の里づくり構想」を掲げており、代表の笹山容子氏が願う「安心安全の食へ物で健康に長生きへの想いが合致し、大豆の栽培に踏み切りました。栽培する品種は、さちゆたか・青大豆・赤大豆の3種類で、有機栽培農法を取り入れています。

これらの大豆を、鳥取県の「6次産業化商品売れる化支援事業」や鳥取市の「食品加工産業育成事業」を活用し、大豆パウダーや打ち豆等に加工販売するなど、6次化を積極的に推進しています。



商品の一例

右:ソイポタージュきのこ(550円・税別)
左:打ち豆ミックス(600円・税別)



Café ポ・ラーノ

住所：鳥取市鹿野町今市1509-2
TEL：0857-77-4633
営業時間：9：30～17：00
定休日：月曜日（祝日の場合は翌日）

また、平成29年4月に直営飲食店「Café ポ・ラーノ」を開店しました。自社生産の大豆・大豆パウダー・豆乳等を使用した「低糖質・低カロリー・グルテンフリー」の食事を提供しています。

現在では地元企業との連携を図り、鳥取の食材を首都圏の消費者に届けるため、とっとりおみやげ新橋館や(株)地域商社ととり等を通じて、販路開拓も積極的に取り組んでいます。

笹山代表は、「増えつつある耕作放棄地を緑豊かな大地に取り戻し、次の世代に美しい自然を残しながら、大豆の食文化をつないでいきたい」と地域への貢献を視野に入れた事業の未来像を描いており、今後の展開が期待されます。

若桜町商工会

若桜の新たな土産品をPR

若桜町商工会は、12月6日に若桜の土産品や特産品の開発商品発表会を開催しました。

この事業は、商工会が町内事業者の土産品づくりを支援し、地域の活性化を図ることを目的に企画したものです。

当日は関係者約40人が参加。商品を開発した12社が地域資源を活かした食品や工芸品など17品目を若桜町の新たな土産品として、工夫を凝らしたプレゼンテーションを行い披露しました。

今後は情報発信や販路開拓を進め、地域経済の発展に繋げる取り組みを行っていきます。



試食をしながら意見交換する参加者

鳥取市南商工会

地域の観光や特産品を全国へ

鳥取市南商工会は、前年度より全国展開支援事業を活用し、観光商品・メニュー・特産品の開発に取り組んでいます。

今年度は当地域(河原町、用瀬町、佐治町)のスポットを巡るツアー「女子力アップツアー in MISATO」を企画、11月にモニターツアーを開催しました。また、地域自慢の食材を使用した「姫ランチ」や、梨飴・土産品なども開発。12月には目標であった「観光商談マッチングフェア」に参加し、約15社と商談をすることができました。

次年度は開発商品をさらにブラッシュアップし、売れる商品を目指して事業展開していきます。



観光商談マッチングフェアで地域自慢の商品をPR

異業種間で情報共有 ビジネスマッチング交流会開催

中部センターは2月7日、やまぐち総合研究所(有)取締役所長の中村伸一氏を講師に招き、「ビジネスマッチング交流会@鳥取 中部」を開催しました。

交流会は、中部四町商工会会員企業等28人が参加。参加者の業種は、卸売・製造・建設・サービスなど多種多様。異業種間で、それぞれのアイデアを付箋に書き出し、企業間の事業資産の組み合わせの可能性について、ワークショップ形式で掘り起こしを行いました。

異業種間で、情報を開示し共有することで、新たな商品開発や顧客開拓など、さまざまなアイデアの創出に繋がる「気付き」を得ることができた交流会でした。



異業種交流でさまざまな「気付き」を発見

「独自の流通システム」が 販路開拓のエンジン

昨年10月に販売を開始した「とりそらたかく商品」。

その後の販路開拓では、物産展や商談会を合わせて、延べ15件に出展しました。その結果、42件の新規成約に繋がっています。一出展当たりの成約率は2.8件で、この背景には、効果的に稼働している「独自の流通システム」の存在があります。

この流通システムは、プロジェクトメンバーの(株)新藤(三朝町)が受発注業務と代金精算業務を担う仕組みです。また、商談会にも参加して積極的に売り込みをしています。

一方でプロジェクトメンバー同士が取引先を紹介し合う動きもあり、昨年12月には米子空港セブンイレブンの成約に繋がりました。さらに2月からは米子空港ビルでとりそらたかく商品のネット販売が始まるなど、同システムが販路開拓のエンジンとなっています。



米子空港セブンイレブンの売場に商品陳列する(株)新藤の米村部長

三朝町商工会

青年部員・女性部員をPR



※表紙はイタージュです

三朝の元気をお届け!



美笑女図鑑・三朝配信中!

三朝町商工会青年部・女性部は、少しでも多くの方に部員事業所を知ってもらおうと、冊子と動画を作成しました。

青年部は「三朝の元気をお届け!フォトレーターMIGLET」として、部員の顔写真入りで事業所や三朝のおすすめポイントを紹介した冊子を作成。女性部は「会いに行ける美笑女」として動画を撮影しYouTubeにアップ。しっかり事業内容をPRしながら笑顔満載の内容となりました。

笑顔あふれるYouTubeチャンネル「美笑女図鑑・三朝」をご覧ください、ぜひ「美笑女」に会いにお越しください。

湯梨浜町商工会

ことばの森を育てる

湯梨浜町商工会は1月19日、赤羽博之氏を講師に招き「すぐできる!伝わる文章の書き方セミナー」を開催しました。

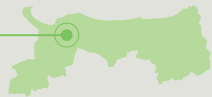
今回のセミナーは会員から「どういう文書が相手に伝わるのか知りたい」との要望を受けて開催したものです。

伝わる文章のポイントは「短く・重複を省く・具体的に」の3点と、「自分の言葉で書く」ことを学びました。また、書く力を育てるには、普段から新聞のコラムを音読・模写し「ことばの森」を育てることが重要と説明がありました。

実例を交えながらの講演に、参加者からは「分かりやすい、すぐに活用できそう」との声があがっていました。



実例を交えた講演



実現可能性の高い計画へ

経営計画作成セミナー・個別相談会開催

西部センターは1月26日、伯耆町岸本の公民館にてファーストインシアチブ代表 藤本隆幸氏を講師に招き、「経営計画作成セミナー」を開催しました。

当日は、経営計画を作成することの意義やメリット、期待される効果等の説明があり、参加者は熱心に聞き入っていました。

セミナー後半では、自社の経営についての強み等を分析し、経営計画を作成するワークショップを行い、経営計画作成の実務も体験しました。今回のセミナー受



経営計画作成の実務も体験

講を機会として、鳥取県版経営革新計画の申請や小規模事業者持続化補助金、ものづくり補助金の申請・活用につなげていただきたいと思います。

また、経営計画作成セミナーの受講者を中心に個別相談会を予定しており、実現可能性の高い、より具体的な事業計画の作成に向けて継続的に支援していきます。

西部センター及び管内商工会は、事業者の経営計画作成の実現に向け、各種施策の活用もサポートしていきます。



経営計画の意義やメリットを説明

日南町商工会

青年部恒例事業まちづくり塾 町長を囲んで意見交換



増原町長による講演

日南町商工会青年部は毎年まちづくり塾を開催しています。今年度は「日南町林業成長産業化について」と題して増原町長に講演いただき、講演後は担当課を交えて意見交換会を行いました。現役部員、OB部員など総勢20人での塾開講となり、部員からは町の遊休施設の活用方法や今後の観光事業などについて質問があがり、活発な意見交換がなされました。

意見交換会終了後は恒例のすっぽん鍋を囲み、和やかな雰囲気の中で意見を交わし、熱意あふれる一夜となりました。

伯耆町商工会

行政トップを囲む 「新春交流会」開催

伯耆町商工会は、1月16日に新年を寿ことほぎ町長及び町議会議長と商工会員との新春交流会を開催しました。

冒頭には足尾商工会長から、大山開山1300年に向けた商工会の取り組みについて説明があり、森安町長より「一緒に頑張りましょう」との言葉をいただきました。

盛大な太鼓演奏が披露され、今年1年の商売繁盛と健康を誓って会員同士が時の流れを忘れ語り合うなど、にぎやかな交流の場となりました。



足尾会長による開会挨拶



盛大な太鼓の演奏

今回のテーマ：経営革新

花と植物を通して コミュニケーションを デザインする

株式会社花工房あげたけ
(北栄町商工会)

今回は北栄町の(株)花工房あげたけ
を取材しました。

同社は生花の加工販売がメイン事
業ですが、三代目の根鈴啓氏が昨年、
15年勤務した東京のIT教育学校を
退職し経営に参画。根鈴氏が前職で
培った知識や経験を生かし、経営革新
に取り組んでいます。



新規事業を立ち上げ、経営革新に取り組む根鈴氏

モノづくりから「コトづくり」へ
根鈴氏が、帰郷を決めたのは昨年春
のこと。

「前職が東京という立地、またIT

という分野上、時代の変化にはとても
敏感でした。そこで感じたのは、近年
商品そのものを売る時代から、商品を
通して経験などを提供する「コト」を
売る時代になったということです。私
が考える「コト」とは「コミュニケーション」。
この要素を取り入れれば、地方企
業にも多くのチャンスがあると思い、
実家の経営に加わりました」と話した
根鈴氏。

従来のように店舗で花を販売する
だけでなく、花を通して「コミュニケー
ションを提供するため、新事業を立ち
上げました。

学校事業と空間コーディネート事業

新事業は個人向け、企業向けの2
つ。個人向けには、同社の2階でフラ
ワーアレンジメント教室などを行う
「学校事業」を、企業向けには、個々の
コンセプトに応じた花や植物を提案・
レンタルし、事務所の空間を華やかに
彩る「空間コーディネート事業」を展
開しています。

「『学校事業』は、前職の経験が特に
生きています。技術を学びに入学して
きた生徒たちに、『学校に来て一番良
かったことは？』と聞いたことがある
のですが、揃って『仲間ができたこと』
と言っています。学校が持つ「コミュニ
ティ形成力に大きな可能性を感じ、事業化
しました。また『空間コーディネート事

業』も、都会では従業員が福利厚生と
して数多く取り入れられ、癒しや会話
の創出などの効果が証明されているこ
とから事業化に至りました。両事業と
も始めて間もないですが、参加者や企
業から大変好評をいただいています」
と、花を通して「コミュニケーションを提
供することはもちろん、これまで花と
接点の薄かった潜在顧客層へのアプ
ローチにも成功しています。



企業の事務所を、花や植物で華やかに
彩る空間コーディネート事業



倉庫だった同社の2階を有効活用した学校事業

花に限定しない交流を

今後は、地域全体の活性化も視野に
入れ、事業に取り組んでいきたいとの
こと。

「花のみの学校ではなく、ゆくゆく
は、地域のワザを持ったさまざまな人
たちを講師にした講座を作っていきた
いです。業種の壁を越えて、講師と参
加者が技術・知恵の交流を図っていく
ことで、今までになかった取り組みや、
異業種同士のコラボ商品などを生み
出し、地域に活気をもたらしたいで
す」と熱く語られました。

新事業で自社の経営革新のみなら
ず、地域活性化にも積極的に取り組む
根鈴氏から今後も目が離せません。

企業データ

(株)花工房あげたけ (東伯郡北栄町由良宿1603番地)

TEL : 0858-37-2010 HP : www.agetake.co.jp



青年部

意識共有と自社PR術の習得

鳥取県青連は、1月24日に夢つくりサミットと指導者研修会を開催しました。

夢つくりサミットでは、鳥取県青連の山内会長が、来年度以降の事業や、県下部長を始めとした部員に求められる役割について話し、意識共有を図りました。

また指導者研修会では、講師にエムスブラ代表の河上美夏氏を招き、「自信を持って自社PRするための自社プレゼンセミナー」と題したグループワークを行いました。①専門用語は使わず、②印象に残る言葉で、③1分間でプレゼンという条件の中、グループごとで全員が発表。経営者・後継者としてビジネスの場で求められる「御社はどんな企業ですか?」という問いに、即座に、また簡潔に答えられる準備を整えることができました。



班員に分かりやすく伝えるよう自社プレゼンを行う参加者

商工会青年部のメリットとは



「チャンスを見つけ取りに行く意識を」と語る相澤氏



青年部活動のメリット等について協議

県内西部の青年部員が企画、運営を行い、第3回次世代経営者カレッジ「青年部でリア充になる方法」を1月19日に開催しました。

まず、参加者がグループに分かれ、青年部活動の中で感じているメリット等について協議。出た意見や疑問は、講師の三朝町商工会青年部の相澤涼太氏、県連合会事務局の2名が受け答えるパネルディスカッション形式で行いました。

ある参加者の「青年部にいるメリットが分からない」という意見に、相澤氏は「青年部は、社員ではなく経営者・後継者の集まり。従業員ではないので、自身でチャンスを見つけ、取りに行く意識を持たなければならぬ」と話があり、多くの共感を呼んでいました。県連合会事務局からも「企業経営では失敗できないが、青年部活動では失敗を恐れず、たくさん学びを得てほしい」と話がありました。

女性部

なでしこ祭り開催を

今後の自信に

県女性連創立50周年記念事業なでしこ祭り報告会を1月23日、ホテルセントパレス倉吉にて開催しました。

18商工会女性部と4ブース(健康広報・休憩・リユース)の代表者が、当日の様子や取り組んだ感想を発表しました。

「女性部の力で大きなイベントを成功できたことが自信になった」「他の女性部の頑張り刺激を受けた」といった声が多く聞かれました。

初開催だったため、周知方法や情報共有等に関する改善点が多くあげられましたが、リユースカップの使用やエピソードタグ付きフリーマーケットなど新しい取り組みにも挑戦でき、部員同士の交流も深められた点は、次に繋がる大きな収穫となりました。



なでしこ祭り当日の様子や参加した部員の感想を互いに発表

A級グルメで地域に観光客を呼び込む



寺本氏からヒントを得ようと熱心に話を聞く参加者

同日午後より、若者女性経営者等資質向上セミナーを開催しました。

講師は、「A級グルメ戦略」を柱にさまざまな地域活性化手法を仕掛けている島根県邑南町役場農林振興課の寺本英仁氏。

セミナーでは、「スター料理人を地方で誕生させる!」人が来なくなる地域の魅力について、「と題して講演。人口1万人の邑南町にどうやって年間92万人の観光客を呼び込んだのか、成功の秘訣について学びました。また、自分たちの住む地域に対して自信や愛着を持つことの大切さに改めて気付かされました。

参加者からは「自分の町に合った方法を探して地域を盛り上げていきたい」「廃業してしまつては終わりという講師の言葉を聞いて、家業をたたむことはかり考えていたが、まだ何かできることがあるのではと思った」といった声が聞かれました。

鳥大情報室

鳥取大学の広報

鳥取大学の取組みや様子を紹介します

鳥取大学は「風紋」など各種広報物を定期的に発行して、広く社会に大学の取組みや様子を伝えたいです。

「トリセツ」は学生広報スタッフが企画・編集する情報紙で、学生ならではの視点で鳥取大学を切り取っています。2017年5月発行第11号に掲載された「地域就業論」を受講した学生へのインタビュー記事には、県内企業の講師から企業の現状やビジョンを学んだ感想が述べられています。

鳥取大学の広報例

種類	内容
風紋	鳥取大学の教育、研究、社会貢献などの取り組み、学生の学びやサークル活動の様子などをお伝えます。年4回発行。
トリセツ	学生広報スタッフが企画・編集。学生目線から見た鳥取大学の姿を届けます。
とりだい病院ニュース	鳥取大学医学部附属病院が患者さんやご家族、地域医療機関などへの取り組みを紹介します。
SNS	大学公式フェイスブックおよびツイッター。イメージキャラクター「とりりん」が鳥取大学の最新情報をお伝えます。
動画	大学紹介ムービーのほか、学生が制作した洋画予告風のオリジナル動画もあります。



「トリセツ」の記事

ものづくり系マッチング支援

鳥取大学振興協会の情報発信

鳥取大学振興協会は平成12年度の設立以来、鳥取大学と地域産業界との交流・産学連携を推進する活動を行っています。平成30年1月現在の会員企業数は208社です。

振興協力会会員企業向けの活動のひとつにもつくり系マッチング情報の発信があります。リンクル株式会社は全国の大手企業から集めた先進的な製品開発・生産の「ものづくりニーズ」を年間1000件ほど紹介しています。新製品の開発パートナーや新分野参入に際しての設計や生産の知見やノウハウを求めるニーズなど、会員企業が得意の分野で培った技術や実績を活かせるニーズです。

ものづくり系マッチング情報についての詳しいことは、下記QRコードでリンクル株式会社ホームページにアクセスをお願いします。



鳥取大学の広報例

発信日	発信情報
2018年1月15日	AI, IoT等の活用による工場作業の効率化・最適化
2018年1月15日	自動墨出しロボット共同開発
2017年12月28日	コンクリートなどの材料を使わない屋外用の土台システムの設計・開発
2017年12月26日	配管内の液体を往復搬送可能なポンプの試作の共同開発パートナー
2017年12月26日	圃場における地形測量技術を持つ開発パートナー

鳥取県知財総合支援窓口

0857-52-5894

13:00 ~ 16:00

鳥取県知的所有権センター

(独) 工業所有権情報・研修館事業

知的財産に関すること、なんでもご相談ください。

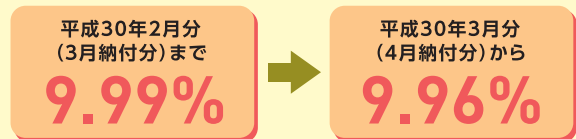
(公財) 鳥取県産業振興機構知的所有権センター (一社) 鳥取県発明協会

場所	鳥取県産業振興機構 本部	鳥取県立図書館	倉吉市立図書館	倉吉商工会議所	鳥取県産業振興機構西部支部	米子市立図書館	米子商工会議所	境港商工会議所					
予約先	0857-52-5894	0857-26-8155	0858-47-1183	0858-22-2191	0859-36-3800	0859-22-2612	0859-22-5131	0859-44-1111					
相談員	弁理士	弁理士	知財コーディネーター			弁理士	知財コーディネーター						
3月	1日	8日	15日	22日	13日	6日	20日	2日	16日	5日	27日	28日	14日

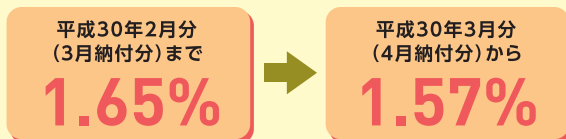
協会けんぽ鳥取支部加入者の皆さまへ

平成30年3月分(4月納付分)からの協会けんぽの保険料率についてお知らせします。

健康保険料率



介護保険料率



鳥取支部の健康保険料率は変更となります。介護保険料率(全国一律)も変更となります。皆さまのご理解をお願い申し上げます。
 ※40歳から64歳までの方(介護保険第2号被保険者)は、健康保険料率に介護保険料率が加わります。※賞与については、支給日が3月1日分から変更後の保険料率が適用されます。

お問い合わせ先 協会けんぽ鳥取支部 企画総務グループ TEL.0857-25-0051



ジブラルタ生命保険株式会社 鳥取支社

〒680-0846鳥取市扇町9-2 とりぎんプラザビル5F TEL:0857-36-7020

【コールセンター】 **0120-37-2269**

ジブラルタ生命URL <http://www.gib-life.co.jp>

受付時間 平日8:30 ~ 20:00 土曜9:00 ~ 17:00
(日曜・祝日・12/31~1/3を除く)

—— 経営に関する多様なニーズにお応えいたします。 ——

中小企業ローンコーナー

力強くバックアップ!

営業時間 / 平日 9:00 ~ 15:00
休業日: 土曜日、日曜日、祝日、年末年始

鳥取営業部中小企業ローンコーナー

鳥取市栄町402番地(鳥取営業部内1階)

TEL.0857-39-5151



米子支店中小企業ローンコーナー

米子市加茂町2丁目104番地(米子支店内1階)

TEL.0859-34-2150



これから起業創業される方を融資で応援!

創業者向けビジネスライン[スタート型]

開業当初から最大28カ月は、カードローン形式で資金繰りに柔軟対応。
ご融資金額 最大1,000万円まで 何かとお金が必要な創業当初を応援します。

- ご利用特典**
- クラウド会計ソフトfreeeの一定期間無料利用
 - (株)ビザスクのコンサルティングサービスの利用割引 など

創業するなら、サポート充実のとりにぎんへご相談ください。

詳細はとりにぎん窓口またはホームページをご覧ください。

創業支援デスク

0120-968-859

平日9:00~17:00



イヨ フルハップ 会費のお取扱いは
0120-14-2682 **信用金庫**
[土、日、祝日は除く9:00~17:30]



中国地区しんきん経営者協議会
TEL 082-240-1165



中国しんきんカード
TEL 082-243-1181

みんなのために、ひとりのために



米子市東福原2丁目5-1



倉吉市昭和町1-60



鳥取市栄町645

新入会員紹介

東部センター管内

- 岩美町商工会
 - ・美谷造園(造園業) 美谷 幸一
- 鳥取市西商工会
 - ・お好み焼き 京(飲食業) 中西 敏昭
- 鳥取市南商工会
 - ・Private Eyelash(エステ業) 田中 優美

中部センター管内

- 湯梨浜町商工会
 - ・Tiny Kitchen Smooth(飲食業) 米田 桂吾
 - ・カフェ&ダイニング ミセス(飲食業) 岡本 和代
 - ・庭樹園鳥取(植木販売) 青木 恵以子
 - ・湯梨浜無人航空そらあい(サービス業) 山田 太一
- 三朝町商工会
 - ・びよう空間Cota(美容業) 小谷 加代子
- 北栄町商工会
 - ・(株)Giveseed(写真業) 大塚 健一郎

西部センター管内

- 大山町商工会
 - ・社会保険労務士 行政書士事務所 モルゲンロート (社会保険労務士・行政書士) 荒松 雅美
 - ・引田(インターネット販売) 引田 悠紀
 - ・アスラメイト(株) (コンビニエンスストア) 金田 悠紀
 - ・(株)大山レーヴ(製造販売業) 松本 将治
 - ・(株)さんどう(飲食業) 小谷 英介

- 米子日吉津商工会
 - ・(株)十河建設(建設業) 十河 秀明
 - ・(株)べんけい(建設業) 藤川 知将
 - ・理容シラカフ(理容業) 白川 清
 - ・(株)米子青果(青果卸売業) 上田 博久
 - ・(株)エフズライン(運送業) 舩越 亮則
- 伯耆町商工会
 - ・TOMONARI(株)(サービス業) 焦 学智
 - ・特定非営利法人 山陰福祉の会 (福祉サービス業) 山中 裕二
- 日南町商工会
 - ・久代林業(木材卸売業) 久代 善平
 - ・日南町森林組合 平田 広志
- 江府町商工会
 - ・Ones Freak(ワンズ フリーク) (サービス業) 富永 勇太

(敬称略)

商工会員募集!

わたしには夢がある。
動き出そう! 商工会と。

ぜひ商工会を
使ってください!
力ちから
になります。

商工会は経営に関する支援を行っています。

- ★起業したい! ★専門家に相談したい!
- ★販路を広げたい! ★とにかくこの状況を改善したい!
- ★経営を向上させたい! などお考えの方...

- そのほか
- 法律相談 ●経営上必要な資金調達 ●経営診断など
 - 施策の普及 ●労働保険事務代行 ●経理の効率化
 - 貯蓄共済 ●福祉共済 ●自動車共済など
- もお受けします。各種共済も取り扱っています。

入会企業の声



事業所データ
カープス大山町健康センター
TEL:0859-54-5080
ブルーディア大山町健康センター
TEL:0859-54-2920

ご縁があつてこの度入会させていただきましたので、商工会の皆様とのつながりを活かして、より多くの皆様を健康にして、地域の活性化に貢献していきたいと思っております。

利用させていただいており、本当に嬉しく思っています。私達の施設の運動は、1回たったの30分で、筋力とストレッチ、有酸素運動の3つを組み合わせることで、高年齢の方や痛みがある方も行うことができます。腰やひざ、体重や脂肪、血圧、体力などが気になる方におすすめです。



株式会社カープスジャパン
林 翔太氏

筋力一人で多くの方を健康にしたいです

今から約3年前に大山町役場の皆様と一緒に町民の皆様を健康にする活動がスタートしました。まず、女性のための健康体操教室カープスをつくり、その後、日本で初めての男性用運動施設ブルーディアをオープンしました。現在、大山町の2店舗で約1,000人の方に利用いただいています。大山町の方だけでなく、近隣の市や町の方に